

2025 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮田 裕彦
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

エクイノール社ブラジル沖合プレソルト層バカリャウ鉱区向け 「FPSO Bacalhau」、原油生産を開始

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮田 裕彦、以下「当社」)は、Equinor ASA(本社:ノルウェー・スタヴァンゲル、以下「エクイノール社」)より受注・建造した浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(FPSO: Floating Production, Storage & Offloading system)「FPSO Bacalhau」が、ブラジル沖プレソルト層バカリャウ鉱区において、原油生産を開始したことをお知らせします。エクイノール社にとって、初めてのブラジルプレソルト層のプロジェクトです。

FPSO Bacalhau は、エクイノール社がオペレーターを務め、ExxonMobil Brasil 社、Petrogal Brasil 社(Galp 社と Sinopec 社の合弁会社)、Pré-sal Petróleo SA 社が参画するバカリャウ鉱区(サンパウロ州沖約 185km のサントス盆地プレソルト層 BM-S-8 および Carcará North(カラカラ・ノース)ブロック)の開発に用いられます。

本 FPSO はブラジル開発プロジェクト史上、最大級の FPSO の一つで、日量 22 万バレルの原油生産能力、200 万バレルの原油貯蔵能力を有し、当社米国子会社 SOFEC 社が設計・建造した Spread Mooring(スプレッド・ムアリング: 多点係留)により、水深約 2,050m の海上に係留されます。また、本 FPSO は、炭素強度の大幅な低減に寄与するガスタービン・コンバインドサイクル(GTCC)技術を採用しています。

船体には次世代 FPSO 用新造船体「M350」を初適用。従来の VLCC タンカーより大型のトップサイドと貯蔵容量を備えるとともに、耐用年数もより長く設計されました。

当社がエクイノール社から受注した初の FPSO であり、ブラジルにおける海洋石油・ガス開発プロジェクト向けとして当社 17 基目の浮体式生産設備、同国プレソルト層深海鉱区向けとして当社 9 基目の FPSO となります。



FPSO Bacalhau

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発 (MODEC) は、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading system: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備) をはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備の設計、建造、リース、チャーター、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供する日本で唯一の企業です。

<https://www.modec.com/jp>